

フッドリバー 40周年親善訪問団を募集しています

国際交流と国際化社会に対応できる人材育成を目的に、昭和 52 年に米国オレゴン州フッドリバー市と姉妹都市盟約を締結してから、今年で 40 周年を迎えます。

今回、これを記念して、さらなる親睦と交流を目的に、下記のとおりフッドリバー市への親善訪問団を募集します。町民の皆さまのご参加をお願いします。

●訪問期間

平成 29 年 7 月 3 日（月）～7 月 9 日（日）

●行程（予定）

- ・ 7 月 3 日：青森空港発～成田空港～ポートランド～フッドリバー市着（ポートランド観光など）
- ・ 7 月 4 日：フッドリバー市滞在（独立記念日のパレードに参加）
- ・ 7 月 5 日：フッドリバー市滞在（姉妹都市締結 40 周年記念式典に参加）
- ・ 7 月 6 日：フッドリバー市を出発。シアトル観光
- ・ 7 月 7 日：シアトル観光
- ・ 7 月 8～9 日：シアトル発～成田空港～青森空港着

●旅行代金

約 37 万円（多少、前後することがあります）

※旅行費用の一部は町で助成します（10 万円程度）。

なお、フッドリバー滞在中の 1～2 泊は原則、ホームステイとします。ホテルでの宿泊を希望される場合は、1 万 5 千円程度（1 泊）加算されます。

●申込締切日

平成 29 年 3 月 24 日（金）

■問い合わせ・申込先

総務課 まちづくり班（内線 263）



新年の五穀豊穡を願う「弥生画」を奉納

五穀豊穡を願い、穀物の種子を貼り付ける町の伝統文化「弥生画」が完成し、昨年末、鶴田八幡宮と山道間龍神社にそれぞれ奉納されました。

弥生画は江戸時代の飢饉が続いた頃、村人たちが種子を持ち寄り、板に貼り付け豊作を祈ったことが始まり。穀物の種子を貼り付け、その色を生かして絵を仕上げるのが特徴です。現在では、「元町弥生会」と「山道弥生画保存会」が継承し、その年の干支や七福神などを題材に制作しています。

このうち元町弥生会では、昨年 11 月下旬から制作に取りかかり、会員約 10 人が鶴田八幡宮神楽殿で、先を細くした割り箸を使ってナタネやアズキなど 10 数種類の穀物を貼り付けました。「寿老人、鶴の舞橋を望む」と題した弥生画には、今年の干支「酉」にちなんだニワトリや七福神「寿老人」、津軽富士見湖にかかる鶴の舞橋が描かれています。

山道弥生画保存会では、民話の「花咲か爺さん」、子どもたちが今年の干支「酉」を題材にした弥生画をそれぞれ制作しました。

弥生画は現在、道の駅つた「鶴の里あるじゃ」の大豆・米加工施設西側に展示されています。



△元町弥生会（上）と山道弥生会（下）の奉納の様子

防災行政無線の放送内容を電話で確認することができます

町の防災行政無線では、災害情報や町のイベント情報などを町民の皆さまに周知していますが、万一、放送内容が聞き取れなかった場合、電話で確認できますので、ご活用ください。

◆確認用ダイヤル：0173 (23) 2333 ※通話料は利用者負担となります

